

市民公開講座(Web版)を開催します

今回、新型コロナウイルス感染症の感染対策を考慮し、初めて Web を活用しての「市民公開講座」を実施します。

テーマは、万病のもとといわれる、「高血圧」です。

日本高血圧学会は、昨年、5年ぶりに「高血圧治療ガイドライン 2019（JSH2019）」を改訂し、成人と高齢者の降圧目標を引き下げるなど、各自が自身の血圧を正しく知り、より早い段階から血圧を管理していくことの重要性を強調しています。

本市において、高血圧有病者は推計で 23 万人であり、高血圧が最大の危険因子となる心血管疾患は、死亡と要介護の原因となる重大疾患です。また、本市の健康課題である CKD の発症・進行予防のためにも高血圧を適切に管理していくことは重要です。

そこで、高血圧症及び減塩等の予防法に関する正しい知識の普及啓発により、健康増進を図ることを目的に、令和 2 年 10 月 1 日より市民公開講座（講演会）Web 版を開催します！

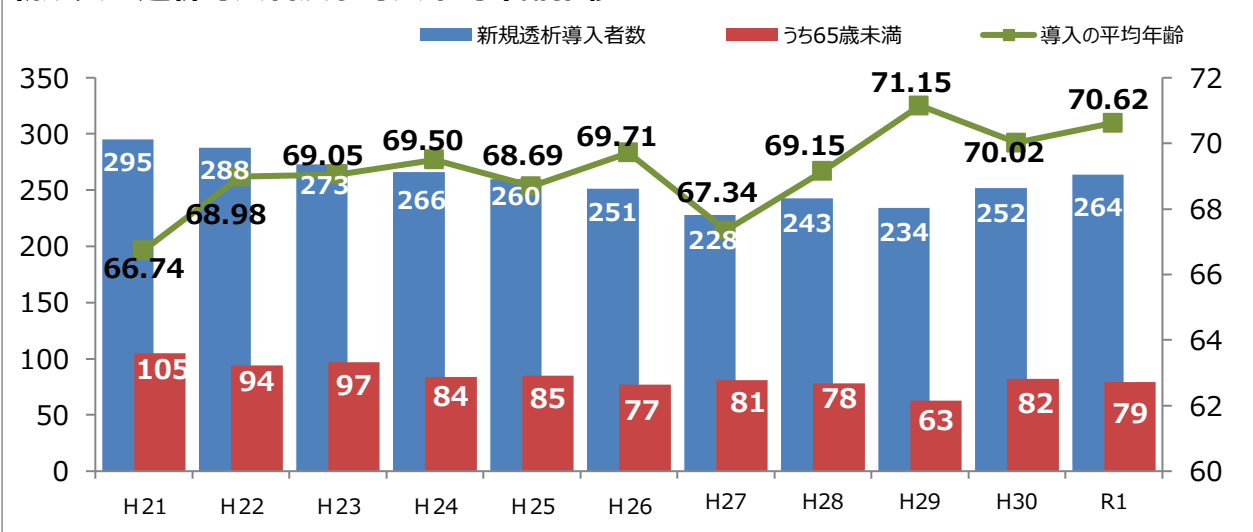
- 講師：土橋 卓也 先生（製鉄記念八幡病院理事長、日本高血圧学会減塩対策委員会委員長）
北岡 康江 氏（あけぼのクリニック管理栄養士、腎臓病療養指導士）

ポスターを同封しています。
周知にご協力をお願いいたします。



本市における人工透析の現状

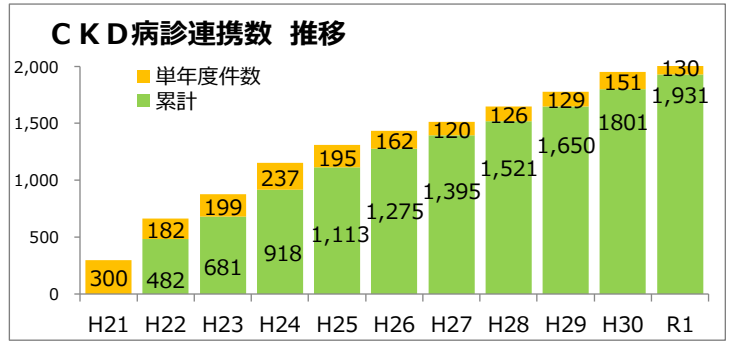
新規人工透析導入者及び導入平均年齢推移



平成 21 年 7 月からスタートしました CKD 対策事業は、今年度で 11 年が経過しました。令和元年度新規人工透析者数は **264 人**と、近年は増加傾向にあるものの、取組開始時と比べると、31 人減少しました。また、透析導入の平均年齢も平成 21 年度の 66.74 歳から **70.62 歳**となりました。

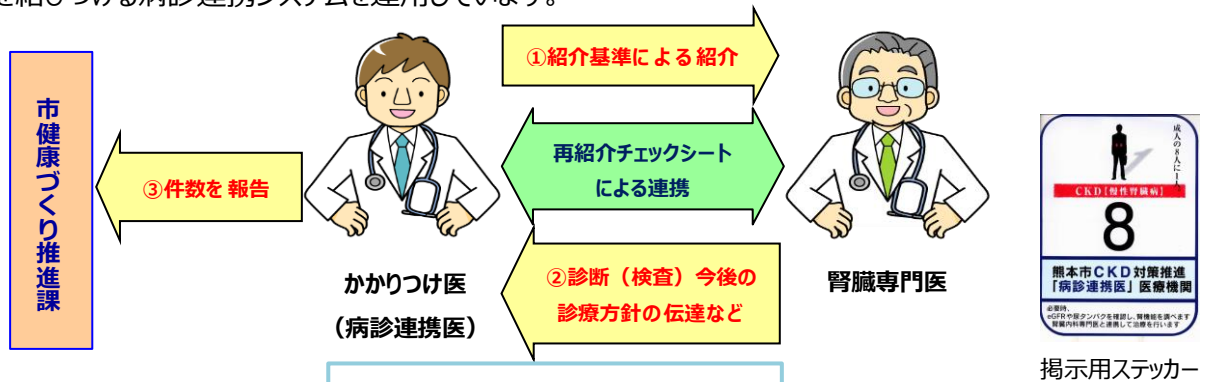
【報告】令和元年度 病診連携数

令和元年度のCKD病診連携数は130件(累計1,931件)でした。この件数は、病診連携の先生方から当課にFAXで報告があった件数です。



【紹介】熊本市病診連携システムについて

本市では、平成21年度にスタートしたCKD対策の重要な取組として、かかりつけの先生方と腎臓専門医を結びつける病診連携システムを運用しています。



熊本市CKD対策「病診連携」紹介基準

《参考》

※①～⑤のいずれかに該当するもの

eGFR値(ml/min/1.73m ²)による紹介基準	
① eGFR 45 未満	(40歳未満では60未満)
※糖尿病がある場合は、60 未満 (70歳以上では50未満)	
② 3ヶ月以内に、30%以上のeGFRの低下	
蛋白尿による紹介基準	
③ 検尿の場合、尿蛋白 1+以上	
④ 尿生化学検査の場合、尿蛋白/尿クレアチニン比 0.5 g/g・creat以上(随時尿) (一日蓄尿は、蛋白尿 0.5g/日以上)	
⑤ 糖尿病がある場合又は血尿がある場合、程度は問わず蛋白尿を呈する者全て (血尿のみの場合、泌尿器科紹介または経過観察とし、経過観察にて症状や蛋白尿が出たら紹介)	
※糖尿病がある場合には、眼科受診の有無の確認及び毎回の尿検査(微量アルブミン定量は3ヶ月に1度)をお願いします。	

病診連携の先生方へのお願い

- 以下の流れでシステムのご活用をお願いします。
 - ① CKDの病診連携紹介基準に基づき、当該患者を腎臓専門医にご紹介
 - ② 必要に応じ、eGFRや尿蛋白を確認し、腎機能を評価し、今後の診療方針の伝達等
 - ③ 紹介基準により紹介した患者数を市へ報告
- 病診連携(紹介)をされた際は、「熊本市CKD病診連携FAX送信票」を市にお送りいただきますようお願いいたします。
- 「熊本市CKD対策紹介状(2018年改訂版)」及び「熊本市CKD病診連携FAX連絡票(2020改訂版)」をご希望の医療機関は、健康づくり推進課へご連絡ください。



制作：熊本市健康づくり推進課

住所) 熊本市中央区大江5丁目1番1号

TEL) 096-361-2145 FAX) 096-366-1173

メールアドレス) kenkouzukuri@city.kumamoto.lg.jp

ホームページアドレス) <http://www.city.kumamoto.jp/>

